

環境を守り育てるまち

地球の資源には限りがあります。これまで人々は、大量生産、大量消費、大量廃棄を行ってきましたが、その結果、資源の枯渇や環境汚染などを引き起こし、今ではこの問題は地球規模へと拡大しています。特に、地球温暖化の防止については、行政だけでなく、市民一人ひとりや事業者が積極的に取り組まなければならない課題です。

大和市は、水や空気をきれいにし、ごみの減量化、資源化を進めるとともに環境教育を推進するなど、環境への負荷軽減に配慮した取り組みを今まで以上に積み重ねていきます。

また、緑は生活にうるおいを与え、その保全は地球温暖化の防止にも効果的です。市内に残る貴重な緑地や農地を適切に守っていくとともに、まちの中に身近な緑を増やしていきます。

大和市は、「健康創造都市」の実現に向けて、環境への負荷を減らし、緑を大切にする、環境を守り育てるまちづくりを推進します。



ここに注目

～資源回収は、「ごみを減らす」だけじゃない～

使用済小型家電を回収しています

市では、循環型社会の実現に向け、排出されたごみ及び資源物について可能な限りリサイクルに努めています。都市鉱山と呼ばれている携帯電話やPHS、デジタルカメラなどの使用済小型家電に含まれている有用金属（金や銅、レアメタル等）を



資源化するため、市内公共施設に回収ボックスを設置し、家庭で不要になった使用済小型家電を回収し、国が認定した事業者に引渡して適正に有用金属を資源化しています。

ここに注目

太陽光、太陽熱を利用して
エコな生活を

太陽光・太陽熱利用システムを導入する方に対し補助制度を実施しています。

太陽光発電は太陽光を直接電気に変えるため、地球温暖化の原因となる二酸化炭素などの温室効果ガスを排出しません。発電容量3kWの太陽光発電を設置すると、年間約1400kgの二酸化炭素を削減できます（平成25年時点）。また、太陽熱温水器を設置することで、都市ガス換算で年間約400kgの二酸化炭素を削減できます（平成25年時点）。本制度を利用して、太陽光・太陽熱利用システムを導入し、地球温暖化を防止するエコな生活を心がけてみませんか？



自然観察センター・しらかしのいえに設置した太陽光パネル

個別目標 4-1 地球にやさしく活動する

- めざす成果 1 二酸化炭素の排出量が削減されている
 - ▶ 環境意識啓発事業、太陽光発電等推進事業、公共施設省エネ推進施設整備事業など
- めざす成果 2 ごみの減量化、資源化が進んでいる
 - ▶ ごみ減量化推進事業、資源分別回収推進支援事業、焼却灰等有効利用事業、塵芥収集事業など
- めざす成果 3 ごみのない清潔なまちが維持されている
 - ▶ 大和市クリーンキャンペーン事業、路上喫煙防止対策事業、不法投棄物未然防止事業など

個別目標 4-2 水や空気をきれいにする

- めざす成果 1 河川の水質が保たれている
 - ▶ 下水道整備推進事務、下水道イメージアップ事業、污水管整備事業など
- めざす成果 2 生活を脅かす環境要因が改善されている
 - ▶ 公害対策調査事業、公害防止啓発・指導事業など

個別目標 4-3 まちの緑を豊かにする

- めざす成果 1 緑地が保全され、まちの中の緑化が進んでいる
 - ▶ 大規模緑地整備事業、記念樹植樹事業、緑化推進支援事業など
- めざす成果 2 身近な農地が大切にされている
 - ▶ 農地管理事業、市民農園運営事業、ふれあい農園支援事業など

ここに注目 **ルールを守って 気持ちの良いまちに**

市では、燃やせるごみ、燃やせないごみについて、有料指定袋の導入、戸別収集を行い、ごみの減量化に努めています。しかし、ルール違反や不法投棄も見受けられます。市内全域での監視パトロールや市民、事業者を対象とした「夏休み親子環境教室」「環境保全講習会」などの啓発活動を行うとともに、年間を通してクリーンキャンペーンを実施するなど、市民一人ひとりの自発的な清掃活動への行動を促すことで快適な生活環境づくりを推進していきます。



ここに注目 **市民農園で収穫の喜びを**

市民の方に広く農業に親しんでいただけるよう、遊休農地を利用した市民農園を設置しています。「収穫の喜びが味わえる」「毎日が健康に過ごせる」「自然とふれあえる」等理由は様々ですが、多くの方が市民農園を利用しています。みどりの保全や農地の保全に役立つとともに、野菜や花の栽培を通じての交流や農業に対する理解を深めていただくこともできることから、皆様のご参加をお待ちしています。

